

平成23年度事業報告

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

平成23年度は期初に定めた活動の基本方針に則り、「よき経営者をめざすものの団体」として静岡県法人会連合会ならびに他団体との連携協調を図り積極的に組織の充実拡充に努力してまいりました。

また最重要課題である公益法人制度改革の流れの中で、(社)岳南法人会の進むべき方向性を検討し、各種勉強会を通して理解を深め、平成25年4月1日をもって一般社団法人化にすることが理事会に於いて決議されました。

1、 組織の拡充強化

- (1) 本年も会員増強については、9月から12月までの会員増強運動期間中に本会、支部、青年部会、女性部会が一体となって取り組み、支部役員一人一社の新会員獲得を目標に掲げ186社の獲得目標を設定致しました。
結果は24年3月末までに132社（前年度136社）と前年と変わらぬ獲得状況を見ることが出来ました。また厳しい経済環境により解散、休業、退会等による脱会は115社（前年度157社）有りましたが、3月末会員数は4,088社（前年度4,071社）と前年を僅かですが上回ることが出来ました。
長引く不況の中にあって各支部役員、関係金融機関、保険会社の努力と協力に感謝致します。
- (2) 青年部会、女性部会は役員及び委員会を基軸に本会との連携を密にして、活発な事業活動が展開されました。今年度は特に新規事業も加わりましたが会員相互の啓発、意識の向上が計られました。

2、 地域社会への貢献活動

(社)岳南法人会の社会貢献事業の一環として今年も「夏休み親子税金教室と感動映画の集い」を開催致しました。8月8日（月）富士宮市民文化会館（大ホール）翌8月9日（火）富士ロゼシアター（大ホール）に2,000人の子供たちと保護者の皆さんが集い盛大に開催されました。
また、恒例の「岳南法人会チャリティーコンサート」は「西城 秀樹」を迎え1月28日（土）に富士ロゼシアター（大ホール）にて盛大に開催されました。

年末に脳梗塞で倒れ開催が危ぶまれましたが、必死にリハビリを行い懸命に舞台に立つ姿に、来場の多くの皆様が大きな感動を受けられました。
収益金の一部と会場に設けたチャリティー募金箱の合計 350 千円を富士市、富士宮市の社会福祉協議会に寄付して善意を評価されました。

3、 研修活動の充実強化

「各種講演会」「研修会」「改正税制説明会」「速修経理実務講習会」「年末調整説明会」等実情に応じた研修活動を進め充実強化を図りました。
また、公益法人制度改革については、専門家を招いての勉強会も開催致しました。地区協議会においても税務研修会、視察研修会等が積極的に開催されました。

4、 税制に関する改正の要望

税制委員会を中心に「平成 24 年度の税制改正要望事項」を取り纏め、社会保障と税の一体改革の推進・法人税の引き下げ・行財政のスリム化等を重要課題として県連、全法連を通じ関係方面に強く要望すると共に、地方自治体首長、議会議長にも陳情を行いました。

5、 広報活動の充実

公益事業の位置付けから、年 2 回発行の広報誌の名称を「会報」から「がくなん」に変更し会員以外も視野に入れた効果的な「税の啓発」に役立つ広報活動を展開しました。
インターネットセミナー・オンデマンドを導入し H・P からの会員・一般に向けた新たな広報活動の場としました。

6、 福利厚生制度の推進

協力保険会社との連携強化を通じて福利厚生制度の中核である大型保障制度 40 周年キャンペーンを積極的に推進しその成果が見られました。

7、 平成 23 年度の事業の実績は次の通りです。